大阪公立大学大学院　創薬科学研究科　創薬科学専攻※

養成する人材像及び３つのポリシー

養成する人材像

創薬を取り巻く社会環境は大きく変化しており、新たな発想やアプローチによる課題解決が求められている。こうした状況で必要なのは、高度な専門知識と技術を持ち、優れた問題解決能力、高い創造性とイノベーション能力、高い倫理観と社会的責任感を兼ね備えた研究者や専門家である。そして、科学技術の進歩に対応し、生命現象の基本原理を探究するという基礎科学的視点を備え、継続的に学習する姿勢や、自己評価とフィードバックを基に自己成長を追求する意欲を持ち、グローバルな視点で創薬科学研究を進めることができる人材を養成することが重要である。

創薬科学研究科※では、次に掲げる人材を養成し、創薬科学分野、及びヘルスケアサイエンスを含めた関連分野の発展に寄与することを目指す。

（博士前期課程）

創薬科学研究の土台となる基礎科学の思考力、知識や技術を築くことができ、科学的な問題解決能力を有し、グローバルな視点で創薬科学研究を進め、自らの研究成果を適切に社会に伝えることのできる人材を養成する。

（博士後期課程）

優れたリーダーシップを有し、創薬科学のフロンティアに挑戦し画期的な新知見を生み出すことができ、創薬科学研究で得られた成果を国内外で社会に還元し、製薬企業や医療、健康分野でグローバルに貢献できる人材を養成する。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（博士前期課程）

博士前期課程では、本研究科の養成する人材像に基づき、以下の能力を身に付けたものに修士（創薬科学）の学位を授与する。

1　本研究科の各研究領域に関する修士論文の作成・発表を通して、学術論文を調査・解析し、研究成果を論理的に記述する能力及び発表する能力を身に付けている。
2　創薬科学研究に関する高度で幅広い専門知識・技術を有し、創薬プロセスを理解し遂行できる。
3　グローバルな視野を持ち、独創的な研究遂行力と判断力、論理的思考力、問題解決能力、プレゼンテーション能力やディスカッション能力を身に付けている。
4　高い倫理観を持ち、社会的責任を果たすことの重要性を理解し実践する能力を身に付けている。

（博士後期課程）

博士後期課程では、本研究科の養成する人材像に基づき、以下の能力を身に付けたものに博士（創薬科学）の学位を授与する。

1　本研究科の各研究領域に関する博士論文の作成・発表を通して、高い研究能力や問題解決能力、研究成果を英語論文としてまとめる能力を身に付け、主体的に研究課題から問題を抽出し、論理的に解決へと導く能力を修得している。
2　製薬企業や海外の学術機関における研究開発プロセスを経験することで、実践的な問題解決能力と研究遂行能力を身に付けている。
3　製薬企業や海外の学術機関における研究開発プロセスを経験することで、研究者間あるいは世界で活躍するために必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
4　創薬科学のフロンティアに挑戦し、画期的な新知見を生み出すために必要な起業家精神、複雑な課題に対する分析能力、創造的な解決策を見出す能力、新しいアイデアを生み出しそれを実現するためのイノベーション能力や創造性、さらに、社会貢献への強い使命感と責任感、高い倫理性を身に付け、学際的視点から創薬科学における世界的な諸問題の解決に貢献することができる。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

（博士前期課程）

博士前期課程では、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

1　創薬科学や関連分野に関する特定の研究課題に取り組み、主体的に研究を計画・遂行し、得られた結果を適切に解析・分析して独創的で新規性のある結論に導く能力を養成するための科目（演習、実験・実習）を置くとともに、研究指導教員の下で必要な研究指導を実施する。

2　異なる専門分野における最先端の実験技術やそれぞれに特有の研究手法を修得するとともに他分野の視点を学び、創薬科学に関する多様な知識や技術を養成するための科目（講義、実験・実習）を置く。

3　最先端の研究を行う学外講師により、創薬科学分野のより広範な専門知識と調査・研究方法を養成するための科目（講義）を置く。

4　世界で活躍する研究者に必要となる英語による創薬科学に関するコミュニケーション及びプレゼンテーション能力を養成するための科目（演習）を置く。

5　学術交流協定締結校や国際共同研究機関に所属する研究者により、国際的で幅広い視点からの知識や研究技術を養成するための科目（講義）を置く。

6　公正性の高い研究を実施するための基本的ルールや倫理観、先取権や知的財産の理解など現代社会が研究者や技術者に求める多様な知識や能力を養成するための科目（講義）を置く。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。

（博士後期課程）

博士後期課程では、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

1　創薬科学に関する研究を自ら立案して実行するための多様な専門知識と技術を修得し、独創的かつ柔軟性に優れた自立的研究能力、総合的な視野で研究成果を発信する能力、また、研究者として必要な創造性、論理的思考力、問題解決能力、倫理観と責任感を養成するための科目（演習、実験・実習）を置くとともに、研究指導教員の下で必要な研究指導を実施する。

2　製薬企業などの研究現場で創薬プロジェクトに参画し、様々な実験技術やデータ解析手法を修得するとともに、プロジェクト管理やチームワーク育成等の能力を身に付けるための科目（実験・実習）を置く。

3　創薬科学における国際的視野に立ち、学術交流、研究活動に貢献し、研究成果を世界に発信する能力、リーダーシップを養成するとともに、英語でのプレゼンテーション能力やディスカッション能力を養成するための科目（実験・実習）を置く。

4　起業家精神を育むために必要な基礎的知識、問題解決能力、リーダーシップ、イノベーション能力、高い倫理観と社会的責任感を養成するための科目（講義、演習）を置く。

5　最先端の研究を行う学外講師により、創薬科学分野のより広範な専門知識と調査・研究方法を養成するための科目（講義）を置く。

本研究科の各科目の学修成果は、定期試験、授業中の小テストや発表などの平常点、レポートなどで評価することとし、その評価方法や基準については、科目毎に授業内容の詳細とあわせてシラバスにおいて明示する。また、特別演習科目及び特別研究科目の学修成果は、研究課題への取り組み状況、研究結果に関するプレゼンテーション内容、教員や他の大学院生とのディスカッション能力などについて、総合的に評価することとし、その評価方法や基準については、科目毎に授業内容の詳細とあわせてシラバスにおいて明示する。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（博士前期課程）

博士前期課程では、次に掲げる人物を求める。

1　創薬科学は、薬学、物理学、化学、生物学、医学、工学などの複数の分野の知識が統合される領域であることから、これらの分野で優れた学業成績を持ち、特に異分野間での知識融合やアイデア発展能力、論理的思考力、融合研究に関するポテンシャルや創造性を有する人物。

2　本研究科での学修・研究に必要な基礎学力を備え、グローバルな視点で創薬科学研究を進める意欲のある人物。

3　異なるバックグラウンドを持つ研究者同士が協力するために必要な、高いコミュニケーション能力や協調性を有する人物。

これらの基準に基づき、以下の能力や適性を身に付けた人物を選抜する。

1　広範な基礎知識：
創薬科学研究の基礎となる専門分野を含む大学における自然科学系の基礎的な科目を幅広く学び、基礎学力及び各専門分野に関する基本的な知識を身に付けた人物。

2　英語能力：
創薬科学分野や関連する分野における英文を読解し、英語で表現するための基本的な能力を身に付けた人物。

3　課題解決能力：
創薬科学分野や関連する分野に関する課題を見つけ、解決を目指すための基本的な能力を身に付けた人物。

4　コミュニケーション能力：
教員や学生との議論に必要なコミュニケーション能力を身に付けた人物。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。

（博士後期課程）

博士後期課程では、次に掲げる人物を求める。

１　優れた学業成績を持ち、特に異分野間での知識融合やアイデア発展能力、論理的思考力、及びインターディシプリナリーなアプローチができる高いポテンシャルを有する人物。

２　大学院博士前期課程修了程度以上の基礎学力を有し、グローバルな環境下で学際研究に積極的に取り組む意欲があり、高度な英文読解力と英語表現力を有する人物。

３　異なるバックグラウンドを持つ研究者を牽引するリーダーシップを発揮しながら研究を進め、その成果を適切に伝える高いコミュニケーション能力を有する人物。

４　創薬科学分野あるいは関連する分野で大学院博士前期課程修了以上の研究能力を持ち、自ら研究を立案・計画・遂行できる優れた能力と知的好奇心を備えた人物。

これらの基準に基づき、以下の能力や適性を身に付けた人物を選抜する。

１　広範で深い基礎知識：
創薬科学研究の基礎となる専門分野や関連する分野を含む大学及び大学院博士前期課程における自然科学系の基礎的な科目を幅広くかつ深く学び、高い基礎学力及び各専門分野の豊かな知識を身に付けた人物。

２　英語能力：
創薬科学分野や関連する分野における英文を読解し、自らの研究成果を英語で論理的に表現し発表するために必要な能力を身に付けた人物。

３　課題発見と解決能力：
創薬科学分野や関連する分野における諸課題を見つけ、それらを体系的に整理し、合理的に解決しようとする高度な能力を身に付けた人物。

４　論理的思考力とコミュニケーション能力：
研究者間の議論を通じて深く考察できる論理的思考力とコミュニケーション能力を身に付けた人物。

※研究科・専攻名称は仮称。設置計画は現在認可申請中であり、内容に変更が生じる場合があります。